

平成25年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

＜評価基準＞
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未満)
 D・・・当初の目的・目標を大きく下回った(目標値の60%未満)

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)												実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
倉吉市教育の創造	倉吉市教育振興基本計画の進捗よく管理	1 ・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務	基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案						進捗状況チェック、中間評価	定例教育委員会へ中間評価の報告						・実施状況チェック、各課の自己評価 ・審議会等による評価の実施	教育行政の点検・評価を行うとともに、実施計画を作成、10月に進捗状況を報告、3月に各課による自己評価を実施した。	B		各施策について、おおむね当初計画のとおり実施することができた。 小・中学校の適正配置については、地区説明会やシンポジウムを開催したが、保護者の参加者が少なかった。今後も、市民の意見を聞きながら、まとめていく必要がある。 耐震化促進については、計画どおりに進捗した。
	倉吉市教育委員会の活性化	2 ・委員の活動強化、市長との意見交換会	教育総務	・市ホームページによる情報発信(レコラム第1回掲載) (随時) ・計画訪問・諸行事等への参加	市長と教育委員との意見交換会(6/24)	市町村研究協議会研究大会(7/4) 中国地区市町村教育委員会連合会研修大会(7/18・松江市)	市町村教育委員研修会(8/5)(県主催)			・レコラム更新(第2回掲載)	・レコラム更新(第3回掲載)						・レコラム更新(第4回掲載)	・学校計画訪問、適正配置等説明会及びその他諸行事へ積極的に参加するとともに、委員会会議内容や計4回のレコラムをホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B		
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	3 ・中学校区ごとの説明会の実施と意見要望とりまとめ	学校教育	鴨川中学校区(4/23)	久米中学校区(5/10) 西中学校区(5/14) 東中学校区(5/21) 河北中学校区(5/27)	適正配置対象小学校区説明会 関金小学校区(6/4) 山守小学校区(6/27)	北谷小学校区(7/1) 高城小学校区(7/9) 小鴨小学校区(7/19) 上小鴨小学校区(7/24) 灘手小学校区(7/30)	社小学校区(8/7) 明倫小学校区(8/20) 成徳小学校区(8/21)		要望を取りまとめ市議会に報告		倉吉市民シンポジウム(11/10) 横田地区(11/14)	最終案提示	予算要求	市小P連(2/4)	予算承認 明倫地区(3/2)	・中学校区別説明会(合計250名参加) ・対象小学校区説明会(合計552名参加) ・智頭町関係者を招き、「倉吉市民シンポジウム」を開催した。地域の行事等と重なったこともあり、参加市民は53名と少なかった。最終案提示まで至らなかった。	C			
	学校教育施設・教育施設の整備運営	4 ・学校施設耐震化促進(西郷小・上灘小・北谷小・社小学校舎、灘手小体育館)	教育総務	耐震補強工事の実施	西郷小学校舎1棟・社小学校舎1棟	西郷小学校舎1棟・上灘小学校舎1棟・西中校舎1棟・鴨中校舎1棟	社小学校舎1棟・上灘小学校舎1棟・久米中校舎1棟	北谷小学校舎1棟										来年度工事発注準備	耐震化事業は計画どおり進捗 耐震化率75.8% 成徳小耐震調査を実施 河北小増築設計	A	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2 学力向上の推進	1 ・学力向上推進の支援(算数・数学、国語、英語プリント ステップ9の活用)	学校教育	加配教員配置 加配教職員研修 ステップ9活用(年間)	ステップ9各校活用状況調査(中学校英語作成が遅れたため)	活用状況についての状況把握(課題・改善点等各校へのアンケート等)								ステップ9各校活用状況調査	成果と課題の把握と改善策の提案			10分間ドリルタイム・家庭学習等に使用し、各校でステップ9の有効活用が図られている。アンケート結果を元に来年度手直しする必要有り。(問題数・文法問題の追加)	B		
		2 ・わかる授業のための授業改善(教職員の指導力の向上)	学校教育	研究主任研修会(4/4) 中学校NRT(標準学力検査)実施	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言)	学校計画訪問での指導助言	研究主任研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	学校評価による点検	中学校CRT(1・2年)	授業づくりに対する指導助言	授業づくりに対する指導助言	後期学校計画訪問	後期学校計画訪問	小学校NRT(全学年)	小学校はNRTの各教科(国・算・社・理)標準偏差値53.9～54.9と比較的高い数値を出しており、概ね良好である。 中学校は、CRT標準学力調査(1・2年実施)で、概ね全国値を上回っていたが、1年英語、2年国語、社会は若干下回っており(全国値-0.5)更なる授業改善を要する。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)												実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2	学力向上の推進	3	・細やかな指導を行うための体制づくり(少人数学級・教員加配)	学校教育	研究主任研修会(4/4) 久米中校区学びと指導の創造事業	校内授業研究会の指導・支援(随時) 教頭研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	研究主任研修会	学校計画訪問での指導助言	学校計画訪問での指導助言	生徒による授業評価の検討					学力実態の把握と分析研修計画	久米中校区の小中連携が進み、他の校区も少しずつ連携を進めつつある。小中連携の中で、9年間を見通した学力の育成(表現力・問題解決能力等)に焦点をあてた授業改善が進みつつある。	B			
			1	・人権同和教育の充実(育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	第1回人権教育主任者会(4/4)				第3回人権教育主任者会(8/30)			第4回人権教育主任者会(10/18)	西中校区同研(11/20 市指定)			第5回人権教育主任者会(1/24)	作文集「差別をなくすために(第41集)」作成	・主任者会をとおして検討してきた「育てたい資質・能力」について、各学校で吟味・検討を行い、その方法や結果について情報を共有することができた。 ・「社会的立場の自覚を深める指導」のあり方について、共通の理解を図ることができた。 ・授業実践の効果的評価方法の検討、また、学校間の取組の格差が課題として残った。	B			
		3	豊かな心とたくましい体の育成	2	・道徳教育・特別活動の充実(赤ちゃんふれあい事業)	学校教育	西中道徳教育総合支援事業(西中道徳教育アドバイザー派遣事業に変更)	赤ちゃんふれあい会(小学校10校、中学校3校) 鴨川中(5/24.30)	道徳授業改善についての発信		道徳教育主任研修会			道徳教育発信					赤ちゃんふれあい会評価	参加した児童生徒や教師の感想のほとんどが、自己肯定感や役立ち感を感じたものであった。 参加児童生徒 小学生274人、中学生87人。	B		
				3	・相談体制の充実、問題行動の未然防止、進路指導の充実(子ども支援センターの充実、スクールソーシャルワーカーの配置)	学校教育	・スクールソーシャルワーカー配置、学校訪問(年間を通じたスクールソーシャルワークの実施) ・不登校早期対応体制づくり ・不登校対応教員加配 ・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置 ・子ども支援センター移転開所式	・各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間) ・生徒指導についての学校計画訪問 ・要保護児童対策会議(随時) ・子ども支援センター児童生徒受け入れ			・生徒指導対策推進会議(講師の都合による)			・生徒指導についての学校計画訪問				いじめ防止基本方針研修会(1/31)		スクールソーシャルワーカーの支援対象児童生徒数14名、訪問回数は、学校へ48回、家庭へ25回、子ども支援センターへ13回、その他関係機関へ6回と支援が進んでいった。 不登校児童生徒数は、小学校では減少したが(27人→19人出現率0.75%)、中学校では増加し(45人→51人出現率3.88%)。総数は昨年度より2名減となったものの合計70人が不登校となった。不登校減少への対策(登校サポートシートの有効活用・学校との更なる連携等)が急務である。	B		
			4	・たくましい体の育成(体育、健康教育、学校保健の充実)	学校教育	親子で学ぶ食の教室希望調査(小学校14校年間を通じて随時)	児童体育祭(5/16) 運動会 新体力テスト	学校保健委員会 県中学校総体予選(6/6・7) 喫煙防止教育性教育講座	県中学校総体(7/20・21) 小学校中部水泳(7/26)	鳥取県小学校水泳大会(8/5)	小学校中部陸上(9/26) 運動会	中学校中部新人大会 鳥取県小学校陸上大会(10/17)	子ども支援に関する研修会(11/13)				学校保健委員会 性教育講演会	○小学校中部水泳入賞・メドレーリレー13チーム ・リレー14チーム ・個人種目95名 ○中学生 ・中国大会出場80名 ・全国大会出場7名 ○小学校中部陸上入賞 ・リレー21チーム ・個人種目84名 ・「親子で学ぶ食の教室」を全小学校1年生で実施。 ・喫煙防止教育を、小学校9校、中学校3校において実施。 ・性教育講座を、4中学校において実施。 新体力テストの結果でおおむね良し(A~C)と判定される児童生徒の割合 小学5年生84% 中学2年生75%	B				

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)												実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
4	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	・倉吉独自の教材づくりの推進(郷土読本の活用、作成)	学校教育	小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用	「くらし風土記」編集委員委嘱と第3回編集委員会(5/14)		「くらし風土記」編集委員委嘱と第4回編集委員会(7/29)	「くらし風土記」編集委員委嘱と第5回編集委員会(8/28)		くらし風土記原稿最終締め切り(10/10)	「くらし風土記」の1回目校正		「くらし風土記」の2回目校正		「くらし風土記」印刷・製本・発刊	B		2年の期間をかけて「くらし風土記」を刊行することができた。関係者の努力により内容的にも充実したものとなったので、中学生はもちろん市民にも活用される仕掛けをしていきたい。 25年度は、博物館の特別展において新しい取り組みも行われた。柔軟な発想で取り組んでいくことが必要である。		
		2	・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	地域教材・ゲストチャーを活用した学習(年間) 春の遠足 社歴史公園等4月～5月(全校遠足) 14小学校で実施	全校遠足(伯耆国跡、伝統的建造物群など) まち探検(生活科、社会科) 博物館を利用した学習 4年 社会科「くらしを守る」消防署見学 14小学校で実施	河北小 6年(6/27) 社会科 伯耆国分寺跡・倉吉博物館見学		親子まち並み産業見学教室(8/9) 参加者 児童10名 保護者 6名	河北中美術部(8/8) クロッキー教室 中学生8人	鴨川中(9/10) 1年鑑賞授業 30人 東中美術部(9/23) 6人 東中生徒による作品紹介 上灘小1年生のデッサンの鑑賞(9/27) 45人 成徳小学校3年から6年のデッサンの鑑賞(9/26) 55人							B			
		3	・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した菜の花プロジェクトの実施(年間)	倉吉市小・中学生淀屋サミットの開催(5/11)			親子町なみ産業見学教室の実施(8/9) 10名の小学生の参加した。		○共同区域菜の花種子配布(9/29) ・小学生16名、中学生16名参加 ○全国都市緑化とっとりフェアに参加 ・「菜の花プロジェクト」ブースにパネル展示(9/24～29)、中学生による種の配布(9/29) 中学生13名参加			菜の花プロジェクト報告会						B	
5	家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1	・開かれた学校づくりの推進(学校ウェブページの効果的活用)	学校教育	学校ウェブページの更新		学校一斉公開(6/11、12)					各校で学校公開や行事への参加呼びかけ	明倫小学校公開(11/10) 上小鴨小学校公開(11/12) 成徳小学校公開(11/26)	山守小学校公開(12/3)				B		各学校とも地域への情報発信に意欲的に取り組んでいる。「学校だより」を呼んでいる人の割合が50%台の小学校区が3校区あり工夫が必要である。 地域学校委員会が各学校に定着し、学校への支援体制が確立した。 さらに、地域の次世代育成のための学校の役割を考え、地域のためにどのような活動をしていくかが課題となる。	
		2	学校地域連携の取り組み推進(子どもの出番づくり)	学校教育		中学生が運営補助 上井・明倫地区運動会(5/12)		各地区夏まつりに参加		小鴨地区「教育を考える会」(9/27) 中学生が運営補助 北谷・高城・上小鴨・西郷・上灘・成徳・灘手・社・上北条・関金地区運動会(9月中下旬)			高城地区「教育を考える会」開催(11/7) 上小鴨地区「教育を考える会」(11/13) 上灘地区「教育を考える会」(11/20) 上北条地区「教育を考える会」(11/22) 北谷地区「教育を考える会」(11/25) 成徳地区「教委を考える会」(11/26) 各地区文化祭に出演・出品	明倫地区「教育を考える会」(12/4) 西郷地区「教育を考える会」(12/15)	灘手地区「教育を考える会」(1/30)	上井地区「教育を考える会」(2/15) 社地区「教育を考える会」(2/22)	関金地区「教育を考える会」(3/4)	13地区で「教育を考える会」が開催された。参加人数827名。 各地区ごとで、地域の子どもの課題や学校の目標をふまえながらの地域学校委員会の活動となった。	B		
		3	・学校運営に参画する体制づくり(地域学校委員会の充実)	学校教育	ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動(年間)	地域学校委員委嘱	第1回倉吉市地域学校推進協議会(5/14)			各校地域学校委員会(一学期のまとめ)					各校地域学校委員会(二学期のまとめ)		第2回倉吉市地域学校推進協議会(2/15)	各校地域学校委員会(三学期のまとめ)	各校とも地域学校委員会を2回以上開催。学校支援ボランティア延べ人数22,791人		B

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み内容(実績)												実績	実績評価	施策評価	最終評価
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
6	よりよい倉吉教育を目指して	・特別支援教育の充実(児童生徒を支える学校体制づくり)	学校教育	特別支援教育主任研修会(4/4)	まなびの教室教育相談(5/8) リーダー育成研修会 1年生訪問	まなびの教室教育相談(6/5) リーダー育成研修会	まなびの教室教育相談(7/3) リーダー育成研修会 ひらがな・計算調査	まなびの教室教育相談(8/7) リーダー育成研修会(8/2)参加者 小中学校教諭6名 保育園園長6名	まなびの教室教育相談(9/4) リーダー育成研修会(9/10) 市就学指導委員会(9/13)	まなびの教室教育相談会(10/2) 特別支援中学校区研修会 リーダー育成研修会(10/24)	まなびの教室教育相談(11/6) 特別支援中学校区研修会 市就学指導委員会(11/8)	まなびの教室教育相談(12/4) 特別支援中学校区研修会 リーダー育成研修会(12/19) ひらがな・計算調査 市就学指導委員会(12/19)	まなびの教室教育相談(1/8) 特別支援中学校区研修会	倉吉市子どもの発達支援研修会(2/2)	まなびの教室教育相談会反省会(3/5) ひらがな・計算調査	子ども家庭課と連携し、配慮を要する園児の幼稚園・保育所から小学校へのスムーズな移行支援を行うことができた。移行支援会議数：45 リーダー研修会は、参加者から丁寧な講義と演習で分かりやすかったという感想が多かったが、学校におけるストラテジーシートの活用の浸透のために学校の支援体制を考えていく必要がある。	B	B	移行支援会議により、情報が共有され、就学・進学に関わる課題にうまく対応できるようになってきている。一方で、教職員の特別支援の観点から児童生徒を分析する力を向上させることが課題となっている。就学援助に関わって、民生児童委員、学校、市教委が業務内容や判断基準について意思疎通を図ることが大切である。
				・教育助成の充実(就学援助事業の周知と適切な執行)	学校教育	就学援助の委任状・口座等とりまとめ	就学旅行費等支払い	学用品費等支払い		特別支援教育就学奨励費支払い	学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い					学用品費等支払い		就学援助審査会 特別支援教育就学奨励費支払い	就学援助事務が適切に執行できた。(平成25年度要・準要保護児童生徒認定率12.5%)
7	給食の充実、食育の推進	栄養教諭、栄養職員等の学校訪問による食に関する指導	給食センター	指導計画作成及び指導案提示														B	給食主任や学校担任、教科担任との連携を密にし、望ましい食習慣の定着につながるための取り組みをすすめることができた。食物アレルギー対応の検討を行い、学校内での情報共有化を図るための関係書類の様式を決定した。
				給食時の指導	8	23	10		27	4	5	2	4	5	0	食に関する指導を年間計画及び要望により実施。講演等も含め指導総計246回。小中学校9年間を通じて専門的な指導を行うことにより、児童生徒の食に関する知識・関心が深まっている。全小学校1年生とその保護者対象の「親子で学ぶ教室」も保護者参加率が増加しており(平成25年度:92.6%)児童生徒の食に対する意識が高まったことが伺える。			
		衛生管理の徹底、施設設備の計画的改修 調理室改修	給食センター	教科等の指導	3	23			9	7	25	7	7	9	0			B	
				食育教室		3	4		4	10	2	2	0	1	3				B
				講演会		3	3		1	1	1	1	1	1	2			B	
				(通年)健康チェック・細菌検査・服装チェック 職員研修				食器洗浄機更新 夏休修理・メンテナンス	コンテナ洗浄機・蒸気配管更新設計監理委託発注 屋根葺替他改修設計委託発注	冬休修理計画・メンテナンス計画		冬休修理・メンテナンス	春休修理計画・メンテナンス計画		春休修理・メンテナンス コンテナ洗浄機・蒸気配管更新工事発注	衛生管理計画に基づき、研修や定期及び日々の点検を行った。施設整備の改修についても計画的に実施した。食物アレルギー検討会を2回開催し、翌年度からのマニュアル整備等につき協議を実施した。	B		
												食物アレルギー対応検討会立ち上げ	第1回食物アレルギー対応検討会 ・今後の検討会での協議事項確認		第2回食物アレルギー対応検討会 ・関係書類につき様式の協議。決定				